

海士町島まるごと図書館



海士町中央図書館（島根県海士町） <http://lib.town.ama.shimane.jp/index.php>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	海士町大字海士 1490
電話番号	08514-2-1221
人口（図書館が所在する市町村）	2,296人
職員数（うち有資格者数）	6人（2人）
蔵書数	18,320冊
登録者数	620人
年間貸出冊数（H24）	9,892冊

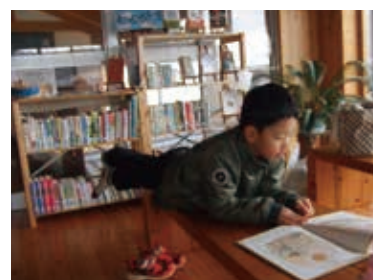
目的・趣旨

海士町は、持続可能な地域社会の実現を目指して、人間力あふれる人づくりの推進に取組んでおり、その中で「読書活動」を重点施策に位置づけ、平成19年度、島まるごと図書館構想を打ち出した。

取組概要

島の学校（保育園～高校）を中心に地区公民館や港など人が集まる既存の公共施設を図書分館と位置づけ整備し、それらをネットワーク化することで、島全体を一つの「図書館」とする取組。

- 保育園・小学校・中学校・高等学校図書館への司書配置、環境整備
- 学校図書館活用教育の推進
- 地区公民館分館の開設、港「キンニャモニャセンター」・保健福祉センター「ひまわり」の分館開設
- 図書館事業の推進体制づくり
- 人材育成（一般・ボランティア・学校・図書館関係者向け研修会等の実施）
- 中央公民館図書室の環境整備
- 海士町中央図書館オープン



【菱浦港「キンニャモニャセンター」分館の一場面】

特徴

【町じゅうどこでも】

集落が点在する1島1町の島。大きな読書施設はなく、蔵書も少ない。ならば、人が集まる場所に、その人が欲しい本を届けよう！始まりは建物ではなく、人と本のつながり。

【支える人々】

多くの住民が顔なじみの町で、誰にどんな本を紹介したらよいか知っている司書が、この取組の中心にいる。「人間力あふれる人づくりの推進」を担う人々に利用されながら、図書館は成長を続けている。

【海士町中央図書館】

平成22年秋開館。住民手作りの書架が並ぶ。小さいながら、居心地の良さと、町の読書、情報の拠点機能を兼ね備えている。



取組の成果と今後について

平成18年度、中央公民館図書室の年間貸出冊数は約1,200冊。取組が始まり、年々増加、図書館開館後は約1万冊に。中央図書館を拠点とし、各学校や分館とのネットワークが基盤化しつつある。町役場、中央公民館に隣接する中央図書館は、町民が集まりやすい立地にある。今後は、親しみやすさを前面に出しながら、住民の暮らしや地域づくりに役立つ情報拠点の役割を、より一層求められている。